

# 伊奈町いきミーティング 2012

伊奈町民討議会

## 実施報告書



テーマ： 災害に強いまちづくりを目指して

**JCI**  公益社団法人 埼玉中央青年会議所

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビルB1私書箱66号  
Tel.048(647)3315 Fax.048(647)3316 Eメール.office@jc766.com

<http://www.jc766.com>

共催：伊奈町 協力：伊奈町商工会青年部

はじめに

私たち公益社団法人埼玉中央青年会議所は、今年、2012年度に「維新伝心」という基本理念そして、～維新の気概を胸に！「生き抜く力」が溢れる希望に満ちた未来のために～というスローガンを掲げ、「明るい豊かな社会」の実現のため様々な活動をさいたま市・上尾市・伊奈町で展開している団体です。伊奈町の皆様には『ばらまつり』の際にバラの写生会でお世話になっております。

伊奈町におかれましては、近年特に若年層を中心とする人口増加に併せて交通などのインフラはもちろん大型ショッピングモールの進出など、便利になって地域住民には住みやすい環境が整ってきているかと思えます。しかし、その反面、地域でのコミュニケーションの形は変化し、隣近所にどんな人が住んでいるのかわからなくなってしまい、地域住民のコミュニケーションが希薄化してきているのではないのでしょうか。そんな時だからこそ、地域のことは地域で考えるというまちづくりへの当事者意識の向上を促す機会が必要となってきます。

この度、私たちは昨年引き続き、第2回目となる「伊奈町いきいきミーティング2012～町民討議会～」を伊奈町との共催のもと開催しました。住民基本台帳から無作為に抽出するという手法を使って、老若男女分け隔てなく参画できるようになっており、今回の討議テーマは「災害に強いまちづくりを目指して」に設定し、これからの地域防災について積極的に意見を出し合っていました。今後も私たちは、この事業を伊奈町で開催し続け、住民参加型であるこのような手法を用いた事業が定着していくことに寄与し、行政と地域住民がそれぞれの役割を理解し、協働によるまちづくりがなされることを目指し邁進してまいりますので今後ともご支援ご協力を賜ればと思います。

最後となりましたが、今回ご参加いただいた地域住民の皆様、本当にありがとうございました。

2012年10月

公益社団法人 埼玉中央青年会議所  
第17代理事長 積田 優

# 目次

## I 事業概要

1. 本報告書の位置づけ
2. 伊奈町民討議会開催に至る経緯・日程
3. 伊奈町民討議会の目的
4. プラヌクスツェレ(Planungszelle=計画細胞)とは？
5. 伊奈町民討議会の特徴
6. 伊奈町民討議会開催概要
7. 伊奈町民討議会報告書作成会開催概要

## II 企画から実施までの流れ

## III 討議会結果及び提言

1. 模擬討議 テーマ:わがまち伊奈町のいいところ
  - ①各グループのまとめ
  - ②投票結果及び考察
2. 本討議 テーマ:災害に強いまちづくりを目指して
  - ①各グループのまとめ
  - ②投票結果及び考察
  - ③町民提言

## IV アンケート結果

1. 参加者アンケート

### 《参考資料》

- ①「平成24年度 伊奈町民討議会」の実施に関する協定書(捺印なし)
- ②参加依頼書及び同封した開催主旨
- ③参加決定通知書及び同封した当日の参加者ガイドブック
- ④情報提供者資料
- ⑤提言書

## I 事業概要

### 1 本報告書の位置づけ

本報告書は、公益社団法人埼玉中央青年会議所(以下、青年会議所という。)と伊奈町(以下、町という。)が共催で実施した「伊奈町いきいきミーティング2012～伊奈町民討議会～」における参加者の討議結果について、『平成24年度 伊奈町民討議会』の実施に関する協定書』に基づき報告書としてまとめ、埼玉中央青年会議所から町に対して施策への反映を求め提出するものです。

### 2 伊奈町民討議会開催に至る経緯・日程

町民討議会は、1970年代以降ドイツで始まった、行政への住民参画の仕組みです。ここ数年日本でも、主に青年会議所が主体となって運営を始め、昨年は全国90箇所以上で開催されるまでに至りました。

伊奈町においては初めての開催となりますが、地域住民がまちづくりに参画する新しい場として、また、地域住民の声の中でも特に最近重要視されている声なき声(サイレント マジョリティー)を行政へ届ける新しい手法として、今注目を集めています。

「伊奈町いきいきミーティング2012」は、本年7月6日に町と青年会議所がパートナーシップ協定を結び、準備を進めて参りました。運営方法などについて議論を重ね、以下の通りの日程で町民討議会を開催いたしました。

#### [日程]

パートナーシップ協定締結	2012年 7月 6日(金)
町民討議会	2012年 9月 1日(土)14:00～17:35 埼玉県県民活動総合センター3階 301セミナー室
町民討議会報告書作成会	2012年 9月22日(土)14:00～15:45 埼玉県県民活動総合センター2階 207セミナー室
町民討議会報告会	2012年10月28日(日)15:00～17:00 埼玉県県民活動総合センター2階 305セミナー室

### 3 伊奈町民討議会の目的

町民討議会とは、無作為抽出による市民が集まり、まちづくりに関するテーマについて、情報提供を受けた上で話し合い、そこで出された意見を集約してまちづくりに活かす住民参画手法のひとつです。

ドイツの住民自治手法である「プラーヌクスツェレ(計画細胞)」を日本風にアレンジして取り入れたものであり、日本青年会議所が日本に紹介し、2005年に東京で実施されて以来、各地に広まっています。

各種の審議会や公聴会、タウンミーティング等の住民参画手法では、行政が出席依頼した各種団体や自治会の役員など、いつも決まった顔ぶれである場合が多いのに対し、町民討議会は、サラリーマンや主婦、学生など意見を表明したくてもなかなか出来ない人たち(サイレントマジョリティー)の意見を吸い上げることが出来ます。

そこで、普段声を発する機会の少ない地域住民が伊奈のまちづくりに参画するきっかけをつくり、住民参画・住民協働によるまちづくりを推進することを目的として、青年会議所と町は、伊奈町民討議会を共催することとしました。

#### 4 プラークンクスツェレ(Planungszelle＝計画細胞)とは？

ドイツのペーター・C・デーテル教授が1970年代に考案し、実施されている新しい市民参画の方法です。英語にすると、プランニングセル『計画細胞』となります。無作為抽出の市民が様々な行政・政治課題に対し討議を重ね解決策を探るプラークンクスツェレは、民主主義の刷新を図る具体的方法として注目を集めています。

##### ○特徴

1. 参加者は無作為で抽出する。(住民基本台帳等の利用)
2. 有償で一定期間の参加(4日間が基準)
3. 中立的独立機関が実施機関となり、プログラムを決定する。
4. 原則30名で構成
5. 専門家(利害関係の場合もある)から情報提供を受ける。
6. 毎回メンバーチェンジしながら、約5人の小グループで討議を行う。
7. 「市民答申」という形で報告書を作成し、参加した市民が正式な形で委託者に渡す。

#### 5 伊奈町民討議会の特徴

1. 伊奈町に住民登録のある16歳以上の方から、無作為抽出で選ぶ。
2. 有償で討議参加を依頼する。 ※3,000円のお買い物券
3. 埼玉中央青年会議所がプログラムを選出し決定する。
4. 1日で模擬討議を含む2討議を行う。
5. 1グループは、5名とテーブルサポーター2名で構成する。
6. 「報告書作成会」の実施
7. 報告会の実施
8. 報告書と同時に提言書を提出

#### 6 伊奈町民討議会開催概要

##### (1) 目的と成果

住民基本台帳を使用し、1,000名へ参加依頼書を送付し、参加いただいた方に討議いただきました。4テーブル各3つ程度のまとめの意見を発表いただき、投票を経て順位付けをしました。また、その内容を考察しまとめました。

##### (2) 開催日時

2012年9月 1日(土)14時開会

##### (3) 開催場所

埼玉県県民活動総合センター3階 301セミナー室

##### (4) 参加人数

20名(男性9名、女性11名)[応募者26名のうち6名辞退]

(5)参加者選出方法

住民基本台帳より16歳以上の男女1,000名を抽出し、参加依頼書を送付(定員30名)

(6)討議テーマ

- ① わがまち伊奈町のいいところ
- ② 災害に強いまちづくりを目指して

(7)討議進行方法

- ① 参加者の中で年代・性別・地域がバランスよく集まるように実行委員会があらかじめ決めたグループ各5名とテーブルサポーター2名で構成。
- ② 情報提供者によるテーマに関する情報提供を受ける。
- ③ グループの中で、発表者を決める。
- ④ グループ毎に討議用紙を使い、意見の提案・集約を行う。
- ⑤ 発表者により、グループ毎の討議結果を発表する。
- ⑥ 参加者1人あたり5ポイント分のシールを使い、同意する意見に投票する。

Aグループ	(この欄は、グループ全員の名前を記入)
討議テーマ	災害に強いまちづくりを目指して
まとめ1 ・○○○○○○○○○○○○○○○○	投票欄
まとめ2 ・△△△△△△△△△△△△	投票欄
残したい意見 ・◇◇◇      ・◇◇◇      ・◇◇◇	

(8)当日タイムスケジュール

時間	内容
14:00	開会
14:01	主催者挨拶
14:06	伊奈副町長挨拶
14:15	事業説明(趣旨・進め方など)
14:25	練習討議:テーマ「わがまち伊奈町のいいところ」
14:46	まとめ
14:55	発表・投票

15:05	休憩
15:10	本討議:テーマ「災害に強いまちづくりを目指して」 情報提供:伊奈町生活安心課
15:20	討議開始
15:50	まとめ
16:10	発表
16:35	投票
16:40	アンケート記入
16:50	結果発表
17:00	閉会宣言

7 伊奈町民討議会報告書作成会開催概要

(1)開催日時

2012年 9月22日(日)14時開会

(2)開催場所

埼玉県県民活動総合センター2階 207セミナー室

(3)参加人数

公益社団法人埼玉中央青年会議所メンバー 7名

地域住民 12名(男性6名、女性6名)

(4)参加者選出方法

討議会に参加した地域住民の希望者と公益社団法人埼玉中央青年会議所メンバー

(5)討議テーマ

討議結果を踏まえ、提言をとりまとめる

(6)討議内容

まず、9月 1日に行われた討議会にて各テーマから出された意見をまとめました。  
 その上で最終的に、地域住民と行政の双方が今後なにをすべきか、という観点から『町民提言』のとりまとめを行いました。

	<p>私たち地域住民は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ○○○○○○○○○○○○○○</li> <li>• △△△△△△△△△△△△</li> <li>• □□□□□□□□□□□□</li> </ul> <p>伊奈町(行政)は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• △△△△△△△△△△△△△</li> <li>• □□□□□□□□□□□□</li> <li>• ○○○○○○○○○○○○○○</li> </ul>

(7)当日タイムスケジュール

時間	内容
14:00	開会
14:01	主催者挨拶
14:05	委員長挨拶・事業説明
14:10	討議会での結果を報告
14:15	まとめ
15:45	閉会



## II 企画から実施・当日と報告書作成までのながれ

### 【パートナーシップ協定締結】

公益社団法人埼玉中央青年会議所は、この町民討議会をより公平・公正で中立的に開催するため、2012年7月6日に、伊奈町と『パートナーシップ協定』を締結しました。特に、個人情報の取扱いについては協定書内に特記事項として明記し、その責任を明確にしました。

この協定締結により、『伊奈町いきいきミーティング2012』がスタートしました。

### 【事前告知】

A2サイズのポスターを50枚作成し、公共機関を中心に掲示してもらい開催の有無を告知しました。また、伊奈町の広報誌上でも告知をし、我々公益社団法人埼玉中央青年会議所と伊奈町が、まちづくりを考える過程で地域住民の声を必要としていることを広く発信しました。

**伊奈町いきいきミーティング 2012**  
～伊奈町民討議会～

**開催趣旨**  
町民の意見は、自治体の行政やまちづくり活動において重要な役割を果たしています。また、まちづくり活動を進めるためには、町民の意見やアイデアを積極的に取り入れることが必要です。町民の意見やアイデアを積極的に取り入れることで、まちづくり活動がより充実し、町民の生活がより豊かになります。

**テーマ：災害に強いまちづくりを目指して**

**方法**  
① 町民の意見やアイデアを積極的に取り入れること。  
② 町民の意見やアイデアを積極的に取り入れること。  
③ 町民の意見やアイデアを積極的に取り入れること。

**開催日程**  
町民討議会：2012年 9月 1日(土) 14:00～17:35  
報告書作成会：2012年 9月 22日(土) 14:00～16:45  
報告会：2012年 10月 28日(日) 15:00～17:00

**町民討議会の特色**  
●参加者の匿名性  
●参加者の匿名性  
●参加者の匿名性

**開催後の結果公表**  
●参加者の匿名性  
●参加者の匿名性  
●参加者の匿名性

**このチラシを受け取ったあなた、ぜひご参加ください。**

**伊奈町いきいきミーティング 2012**  
～伊奈町民討議会～

**討論テーマ：災害に強いまちづくりを目指して**

**あなたの意見で  
よりよいまちづくりをしませんか！**

参加資格が幅広い方にご参加ください。  
(伊奈町民以外の方も参加できます！)

参加費は無料です。お茶とお水も準備しています。  
あなたの声をまちづくりに活かすチャンスです。

2012年9月1日(土) 14:00～17:35  
県民活動総合センター  
301セミナー室

〒362-0812 伊奈町西宮 6-28  
伊奈町民活動センター 301セミナー室

JCI 公益社団法人 埼玉中央青年会議所  
〒300-0808 さいたま市東区大宮1-7-6 17F 会議室 1701号  
TEL 048-847-3911 FAX 048-847-2919 E-MAIL info@jci709.com  
http://www.jci709.com  
会長 伊藤 隆二 副会長 伊藤 隆二

### 【事前準備と募集】

7月に伊奈町と締結したパートナーシップ協定をもとに、住民基本台帳を使用し、伊奈町民16歳以上の男女を1000名無作為に抽出しました。選ばれた1000名には伊奈町の封筒を使って参加依頼書と不参加アンケートと参加申込書・開催趣旨を発送しました。

発送数1000通に対して、①参加承諾31名(3.1%)男性10名・女性21名、実質参加者20名、男性9名・女性11名・報告会のみ参加希望者3名、8名は後日辞退②不参加意思表明 354通(35.4%)③不参加アンケート回収41通(4.1%)が返信され、合計385通(38.5%)の地域住民の方からアクションをいただきました。①実質の参加承諾20名には参加決定書と情報提供資料・討議プログラム・事前アンケートを送付しました。

### 【不参加アンケート・事前アンケート】

事前アンケートでは、不参加アンケートと参加事前アンケートの2種類作成し、不参加アンケートは当日どうしても参加できない方に町民討議会への意識調査を実施しました。また参加者事前アンケートでは、参加を表明していただいた地域住民がどのような人たちか(年齢・性別・職業)を中心に調査を実施しました。



【9月 1日(土)～伊奈町いきいきミーティング2012～ 伊奈町民討議会】  
町民討議会当日は、参加承諾をいただいた28名の中から20名にご参加をいただきました。集まった地域住民の方々にテーブルに分かれていただき、冒頭の主催者挨拶の後、副町長からご挨拶をいただいてスタートしました。



進行説明・ルール説明を行った後に、前段として練習もかねて「わがまち伊奈町のいいところ」というテーマで練習討議を行いました。

【練習討議】わがまち伊奈町のいいところ

【討議】(15分)

【まとめ】(10分)

【発表・投票】(5分)

【本討議テーマ: 災害に強いまちづくりを目指して】

休憩の後、今回の本テーマ「災害に強いまちづくりを目指して」を討議いただきました。

【情報提供】(10分)

討議をスムーズにするために、また専門知識がない地域住民が安心して討議に臨めるように、伊奈町役場生活安心課様から「現在の防災計画など」や、関連する既存事業などを、討議前にお話しいただきました。

【討議】(30分)



【まとめ】(20分)



### 【発表・投票】(30分)



### 【事後アンケート】

事後アンケートでは、実際に参加していただいた方々へ参加してみての感想を中心に調査を実施しました。

### 【9月22日(土)報告書作成会】



9月 1日の町民討議会の結果をもとに、討議会に参加いただいた地域住民の希望者と公益社団法人埼玉中央青年会議所で、報告書作成会を開催しました。1日に各テーブルで出された討議結果を参加者全員で集約し、まとめました。その結果をふまえ、「これからの災害に向けて」をキーワードに、町民提言という形で意見集約しました。

### 【10月28日(日)報告会】

9月22日に作成した報告書を伊奈町に提出する報告会を開催しました。

当日は野川町長にもご挨拶いただきました。取りまとめた内容を発表し、討議会の結果、地域住民がどのように考えているのかを発表するとともに、町民討議者より感想を述べていただきました。

### 【謝礼の支払い】

討議会当日に参加いただいた地域住民の方々に謝礼として伊奈町商工会発行のお買い物券3,000円分を進呈しました。これは、参加者に時間を割いていただいていることも理由のひとつですが、町民委員として仕事と捉え参加していただくとともに、多様な立場の方々に参加していただけるよう、謝礼の進呈は必要と考え実施しました。進呈は報告会の最後に行い、当日出席できない方には郵送(受取人払い)にて発送しました。

今後、本報告書と提言は、伊奈町のホームページや公益社団法人埼玉中央青年会議所のホームページ上にて閲覧・ダウンロードをできるようにし、伊奈町の発行する町報誌にて結果報告します。

公益社団法人埼玉中央青年会議所 HP  
<http://www.jc766.com/>

伊奈町 HP  
<http://www.town.saitama-ina.lg.jp/index.html>

### Ⅲ 討議結果及び町民提言

テーマ毎の討議結果として、各グループのまとめや投票結果及び青年会議所の考察を報告します。また、それらを踏まえ、報告書作成会にてさらにまとめ考察し、町民提言とします。

#### 1. 練習討議 テーマ:わがまち伊奈町のいいところ

##### ①各グループのまとめ

グループ A	加藤紀子・中館寿雄・谷下田美子・大熊春子・沢田精吾	
カテゴリー	個別意見	
住環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ のどかなところ</li> <li>・ 緑が多い</li> <li>・ 道路が整備されている</li> <li>・ 静かなところ</li> </ul>	
活気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティア活動が活発である</li> <li>・ 発展していくことが一緒に出来る</li> <li>・ 今人口が増えているので活性化している</li> <li>・ 子供が増えてきた</li> <li>・ 学校が多い</li> </ul>	
住みやすさ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皆様が親切</li> <li>・ 住み良い町</li> <li>・ 住みやすい</li> <li>・ 渋滞がない</li> <li>・ 災害（洪水・台風）がない</li> <li>・ 交通の便がいい</li> <li>・ 犯罪が少ない</li> </ul>	
	まとめ	得票
	伊奈は住み伊～奈	10
	人口増で活気増	5
	みんなで協力安全安心	7

グループ B		平井昇・赤沼テル・菊田真弓・三國フジエ・野口清史	
カテゴリー	個別意見		
地域性	・ 比較的都会に近い	・ 規模（大きさ）がちょうどいい	
	・ 災害が少ない・災害がない	・ 犬、猫を飼っている人がいっぱいいる	
	・ 比較的穏やかな（津波）ところが大好き		
	・ 大都会より住みやすい		
	・ 温暖気候である		
若い世代	・ 若い世代が多い		
	・ 子供達が増えて発展性がみえる		
	・ お年寄りや子供が多く人口増が多い		
	・ 人口増加傾向にある		
	・ 発展途上にある		
文化	・ スポーツ宣言都市		
	・ 伊奈祭りが盛大、花火がきれい		
	・ 学校や福祉施設が多く人にやさしい		
	・ 医療機関が多い		
交通	・ ニューシャトルが正確		
	・ 駅が近くにあり利便性が良い		
	・ 交通の便が良い		
自然	・ 自然が多い、緑が多い	・ きれいな桜並木がある	
	・ 緑の風景が多い	・ 農産物の農家販売	
	・ パラ園がある	・ 田舎	
	・ 緑が多くキジ、ウサギがいて自然が多い	・ 空気が美味しい	
	・ 内宿の街路樹が良い		
まとめ		得票	
自然が多い		10	
若い世代の増加		5	
地域性が良い		9	

グループ C		出口朱輝・小関徹・山田奈美・山中新子・土田耕助		
カテゴリー	個別意見			
環境	・梨がうまい		・緑が多い	
	・おしゃれなカフェが多い		・花と緑の町	
	・ブドウがおいしい		・子供達のために公園がある	
	・都市的田園のバランスがよい		・バラ園がある	
	・花がおおい			
	・紅葉がきれい			
	・大都市に近い			
住みやすい街	・人のバラエティ		・のんびりとした雰囲気	
	・大規模団地		・ショッピングセンター	
	・長く住んでいる人と新しく住む人が多い		・ニューシャトルという電車がある	
	・住みやすい		・交通の便が良好	
	・街が狭苦しくない		・夏祭りの花火がきれい	
	・比較的災害の危険が少ない		・買い物が便利	
	・便利		・医療関係が充実している	
	・日常生活に必要なものは一通り揃っている		・ガンセンターがある	
	・起伏が少ない		・人口増加中	
	・新幹線とニューシャトルがある		・隣付き合いがよい	
	・友達たくさん		・若い町	
	・ツトメ先が近い（個人的！）		・道路が良い、道路が広い	
	・福祉が良い		・子供が多い	
	歴史・文化	・学校が多い		・歴史あり
		・教育施設が多い		・伊奈氏
・近くで用が足りる			・意外と歴史がある町	
・伊奈学園がある				
まとめ		得票		
環境 自然が豊かで公園設備が整っている・おいしいものが多い		12		
歴史・文化 誇れる歴史がある！！		12		
住みやすい街 交通の便が良く若くて活気溢れる街！！		6		

グループ D 平林正則・中田里実・太田秀成・徳田セツ子・山室仁美		
カテゴリー	個別意見	
文化	・小ギャラリーがある	・文化施設が多い
	・県活センターがある	・子供の数が多い
	・学校が充実している	・人口が増えている
	・薬科大学がある	・県内でも年齢が若い（確か3番目）
	・伊奈氏	・伊奈郡代屋敷跡、北足立の中心
	・企画（生涯学習）が多彩である	
環境	・静かである	・自然がおおい
	・空気がきれい	・自然が豊か
	・自然災害が比較のおおい	・公園が多い
	・農地が多い	・農業が盛ん（野菜など）
	・鳥が多い	・バラ
	・子供が多い	・巨峰、梨
	・緑（草木）が多い	
	・緑豊かな自然	
交通	・新幹線がある	・首都東京から程良い距離感
	・ニューシャトル	
	・交通の便が良い	
	・バス	
その他	・バランスの良い経済教育	
まとめ		得票
文化：文化施設、小ギャラリー、県活センター、伊奈氏屋敷がある。学校が充実している。子供が多い。人口が増加している。企画（生涯教育）が多彩。県内でも年齢が若い		8
交通：（新幹線、ニューシャトル、バス）交通の便が良い。首都圏、東京から程良い距離感		4
環境：緑豊か、自然豊か、空気がきれい。農地が多い。特産物（バラ、ブドウ、梨等）		6

②投票結果及び考察 ※得票、要旨においては重複する部分もあります。

項目	得票合計	要旨
1. 環境 自然・インフラ	合計72票	自然環境、インフラの整備、文化施設の充実など生活するのにとてもいい環境である。 住みやすい街である。
	12	自然が豊かで公園設備が整っている・おいしいものが多い
	10	伊奈は住み伊～奈
	10	自然が多い
	9	地域性が良い
	8	文化:文化施設、小ギャラリー、県活センター、伊奈氏屋敷がある。学校が充実している。子どもが多い。人口が増加している。企画(生涯教育)が多彩。県内でも年齢が若い
	7	みんなで協力安心安全
	6	住みやすい街 交通の便が良く若くて活気溢れる街！！
	6	環境:緑豊か、自然豊か、空気がきれい。農地が多い。特産物(バラ、ブドウ、梨等)
	4	交通:交通の便が良い。首都圏、東京から程良い距離感。
2. 人口の増加	合計24票	近年は特に若年層の人口が増加してきており、活気溢れる街へ変化しつつある。
	8	文化:文化施設、小ギャラリー、県活センター、伊奈氏屋敷がある。学校が充実している。子どもが多い。人口が増加している。企画(生涯教育)が多彩。県内でも年齢が若い
	6	住みやすい街 交通の便が良く若くて活気溢れる街！！
	5	人口増で活気増
	5	若い世代の増加
3. 歴史・文化	合計12票	古くから言い伝えられる歴史・文化が多くある。
	12	歴史・文化 誇れる歴史がある！！
まとめ		
まとめ1:自然、交通、施設等においてとても住みやすい街である。		
まとめ2:人口の減少が深刻化している中でも人口が増加しており、活気に溢れている。		



2. 本討議 テーマ:災害に強いまちづくりを目指して

①各グループのまとめ

グループ A	加藤紀子・中館寿雄・谷下田美子・大熊春子・沢田精吾
カテゴリー	個別意見
前提	津波は考えなくて良い
	防災訓練の実態に合った実施
	大きな地震の時は自分のことで精一杯
	水害は集中豪雨でありうる
	絶対な安全はない
	地震はいつおこるかわからない
自助	家で災害用の袋を用意しておく
	自分の体は自分で守る強い意志
	個人の災害に対しての危機感をしっかりもっていくこと
	家でも防災訓練をする
	非常食を余分に確保する
	家の中でも災害の時の料理やどんな風にトイレを使うか考えておく
	節電について家族で話し合う
	地域の防災訓練に参加する
	家具の固定をしっかりとる
共助	ご近所と仲良くする
	助け合いの心を持つ
	ご近所との普段からのおつきあいを蜜にしておく
	となり同士とのコミュニケーション
	日頃の地域のコミュニケーションづくり
	人とのつながり
	相手の気持ちになって行動する
	自治会へ誘導強化
	防災災害の訓練などに進んで参加していくように
	普段から災害について家族と話し合う
	区の人と常におつきあいする
	災害時の連絡網を明確にしておく
	子供や主人との連絡をつけられるように決めておく
	情報をキャッチする
連絡を蜜に取る	

	連絡ルートを確立する	
公助	けが人の把握方法	
	被害状況の把握方法の確立	
	消化訓練も必要	
	公的援助は期待できない	
	一人住まいの高齢者、障害者の安否確認	
	民生委員だけでは無理	
	住宅建築が多くなっていますが、地盤基盤はしっかりしてほしい	
	それに関して町政として指導しているのか	
	東海対策	
	スピーカーの音がよく聞けるように	
	3・11の教訓をいかして町の取り組みがしっかりしているので充実してほしい	
	道路の整備と環境(明かり)	
	実際災害が起きた時の対応を住民と自治会と一緒に訓練しておいては？	
	荒れ放題になっている土地が多い整理を！	
残したい意見		
	まとめ	得票
	自助 日頃の気構え	5
	共助 地域のコミュニケーションづくり	5
	公助 地域と行政の連携	4

グループ B	平井昇・赤沼テル・菊田真弓・三國フジエ・野口清史
カテゴリー	個別意見
自主防災訓練	家庭の耐震化の補助
	家庭内(自宅内)の危険因子の抽出
	町の防災体制の確立
	防災資機材備蓄品の充実強化
	放射能測定器を区長中心に配り皆が測定できるようにする
	各家庭での防災対策の強化
	ブロック塀を無くす
	家庭の防災備品の補助
	簡潔な地域防災マニュアルの配布
	住民個々の防災意識の向上
	伊奈町は、学校が多いので全部の学校が協力してもらえるように備蓄物資をそろえる
	区ごとの防災資材の設置
	老人・誘導に要さない身体作り筋肉作り
	防災訓練をたびたび実行する
	小・中学校での防災訓練の強化
	伊奈町は動物を飼っている方が多いので獣医さんとも連携して協力を得ておく
災害予防	生垣の促進
	町が井戸水対策に対して補助を出し水分の確保をして欲しい
	開発の計画性と抑止
	各地区の防災組織の強化
	身近に広場を確保
	防災無線の聞き取りの明確
	防災訓練を区長毎 半年に一回
	電力、ガスなどのインフラ事業者との情報交換
	住宅の中に広場を持っている方の一時開放し集会場に できる動き
	災害予防に力点を
	伊奈町で予想される災害の洗い出し
	災害時の避難所の増加と周知
	町の公共施設、構造物補強
	高層建築は抑制する

	水道が止まった場合の処置	
	停電対策	
	地下水(井戸水)の確保	
情報と	広報活動の強化	
コミュニケーションの 充実	みんながわかる防災活動	
	官民あげての防災意識の向上	
	巡回車の増設と見回り強化	
	地域の日常からのコミュニケーション	
	正確な情報を迅速に	
	警察、消防などと情報の交換を充実	
	向こう三軒両隣の交流	
	医療機関の被害情報の発信	
	常に近隣とのコミュニケーションを作っておく	
	近所の声かけが必要	
	近所とのコミュニケーション	
	日頃のコミュニケーション	
	コンビニとの連携	
	町内会の強化	
	古い世代と若い世帯とのコンタクトがとりにくい	
	コンビニでの協力の要請	
	住民間の連帯感を感じる催し	
	災害時要支援者へ普段から見回りの強化	
	町とコンビニエンス、協力を得る地域の連携	
	絆を大事に近所づきあいを大切に	
	命を大事にする計画作成	
残したい意見	伊奈町でオフィシャルの FM ラジオを作る(得票7)	
まとめ		得票
笑顔の町づくり 情報とコミュニケーションの充実		9
連帯感の町づくり 災害予防の事前対策		4
出来る事の町づくり 自主防災活動と訓練		5

グループ C	出口朱輝・小関徹・山田奈美・山中新子・土田耕助
カテゴリー	個別意見
情報	IT の利用
	twitter の利用
	正しい情報
	町外の方に対する誘導
	情報の共有
	避難所などへの情報伝達
	ライフラインの復旧の手伝い
	交通の安全確保
	避難先を決めておく
	身内の連絡先
	近所の要援護者の確認
	連絡ルートの確立
	家の中のもののある場所を知っておく
	最低限のケガへの対応策を知る
	逃げ道を考える
	普段から危険に対するアンテナをもつようにする
	家庭内での危険箇所の確認、対策
	避難先の共有
	家族との連絡方法、避難先
	徒歩通勤ルートの確保
	ありがとう
メンタル	近所のコミュニケーション
	集団生活のストレス
	気持ちのケアインフラとして
	人が人を助ける
	心の支え
	話せる空間
	近所へのお声かけ
	落ち着いた行動
	仲が良いこと

準備品	食料品の確保（水）	
	トイレ	
	物は時間とともになんとかなる	
	常用の薬	
	避難袋の常備	
	ペットの避難対策 エサ・水・トイレ	
	段取り八分 普段からの心構え	
	笛・ライト	
	非常もちだしグッズ	
	普段から2リットルペットボトル3本分の備蓄	
	頭巾、ヘルメット、の準備	
公私のバランス	片付け	
	公的と私的のバランス	
	復旧の手伝い 漠然としたマニュアルがあれば出来る	
	公助と共助をつなぐもの	
	火事を出さないこと	
	公的な助けは届かない	
	竜巻対策	
	公と自の枠からはずれた人をどうするか？	
	通勤支援	
その他	身内の安全	
	防災活動を楽しく！！	
	想定マップ楽しく	
	普段からどこになにがあるか気をつける	
	避難ゲーム	
	周りの人の安全	
	楽しい訓練	
	訓練イベント	
残したい意見	楽しい防災	
	まとめ	得票
	公私のバランス	6
	メンタルケア	10
	情報と準備品！！	2

グループ D	平林正則・中田里実・太田秀成・徳田セツ子・山室仁美
カテゴリー	個別意見
自助	利用する避難所に何があるのか周知、認識
	共助 子供達の現状の確認
	近所の家族構成を把握しておく
	共助 近所との連絡の確保
	自助 ラジオ、光（ローソク、懐中電灯の確保
	自分の出来ることはちゃんとする 心構えを家族と話し合う
	自助 水、食料の確保
	自助 家族との連絡方法の手段の確保
	事が起きた時に動くルートを打ち合わせしておく
共助	避難所の位置 バランス
	水害対策と救助訓練
	火災対策
	高齢者
	母子、父子家庭
	親の帰れない子供
	自治内のつながり
	連絡網などをどうするか
	地域意識の活性
	学校・公共施設と地域住民との連携
	町内企業商店との連携
	普段からご近所と関わりをもち情報交換
	公助 学校体育館の利用
	訓練を重ねることによる仲間意識
	災害教育の充実と持続
	現状の確認が出来る方法の確保
公助	起こりうる災害を具体的に文章化して1つ1つに対策を考える
	公衆電話
	ガス、電気の確保
	交通手段の確保
	文化財

	橋の老朽化	
残したい意見	あらゆる集まりなどではじめる時に地震発生の際は中止するとアナウンスする	
	防災意識の継続的な浸透	
	みんなが守りたい町にする	
	若い人たちが伊奈町を好きになる	
	まとめ	得票
	災害弱者を支える自治のつながり	7
	個の備えありき、孤を救う	9
	整備拡充	2



②投票結果及び考察

項目	得票合計	要旨
1. コミュニケーション(共助)	合計40票	地域におけるコミュニケーションが第1であるということ。 個人だけでは出来ないことをみんなで協力をして行こうとする考え方。
	10	メンタルケア
	9	笑顔の町づくり 情報とコミュニケーションの充実
	7	災害弱者を支えるつながり
	5	共助 地域のコミュニケーションづくり
	5	出来る事の町づくり 自主防災活動と訓練
	4	連帯感の町づくり 災害予防の事前対策
2. まずは個人(自助)	合計22票	まずは個人で出来ることはなんなのか。 備えなど
	9	個の備えありき、狐を救う
	6	公私のバランス
	5	自助 日頃の気構え
	2	情報と準備品！！
3. 行政との連携(公助)	合計14票	個人や地域で出来ないことは行政に。
	4	公助 地域と行政の連携
	2	整備拡充
4. その他	合計7票	伊奈町でオフィシャルのFMラジオを作る
<b>まとめ</b>		
<p>まとめ1: 町民は、地域のコミュニケーションを大事にすることを常に意識し、有事の際に協力し合っていこう。</p> <p>まとめ2: 行政には、設備の拡充、効果的な訓練の実施を求めます。</p>		

以上のように町民討議会で出された意見をまとめ、考察いたしました。その結果、行政の助けも必要としながら、まずは個人の意識を改めて、町民同士の日頃からのコミュニケーションを大事にし協力しながらこれからの災害に備え、また有事の際に助け合っていこうとする積極的な意見が非常に多くありました。

# 町民提言

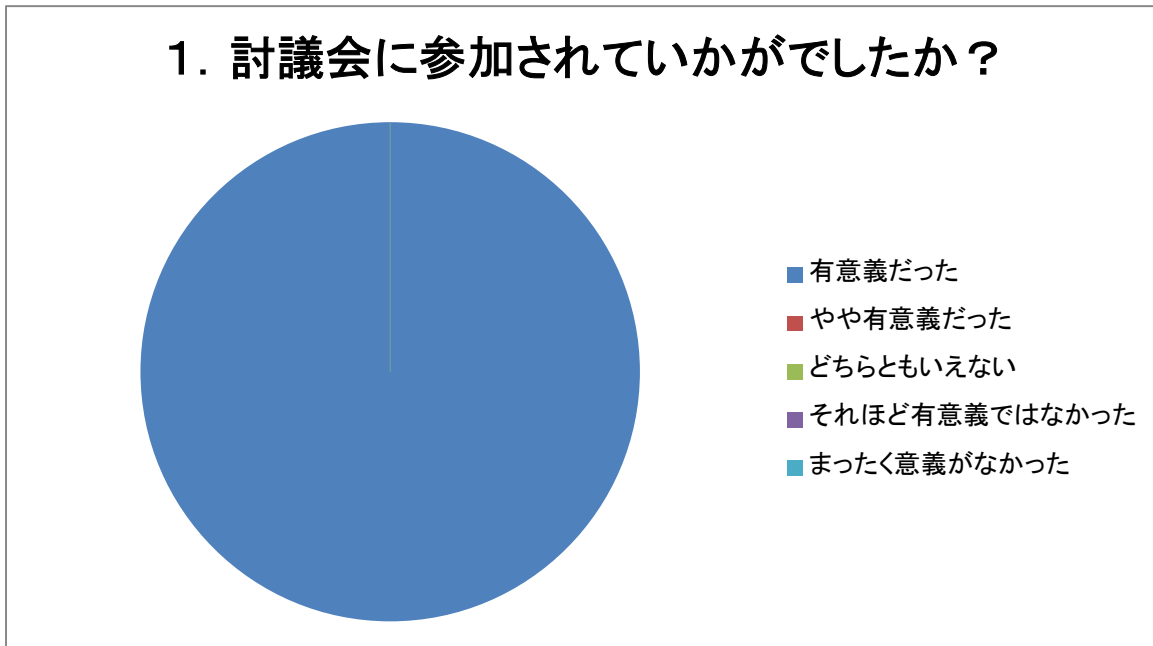
## 災害に強いまちづくりを目指して、町民は

- 自ら「備え意識」を向上させます
- 日頃から家族や地域住民としてのコミュニケーションづくりに努めます
- 災害発生時に限らず、日頃から助け合いの心を持ちます
- 平時と災害発生時それぞれの状況にあった体制・役割の確立が必要です
- 絶対な安心安全はないという意識を持ちます。

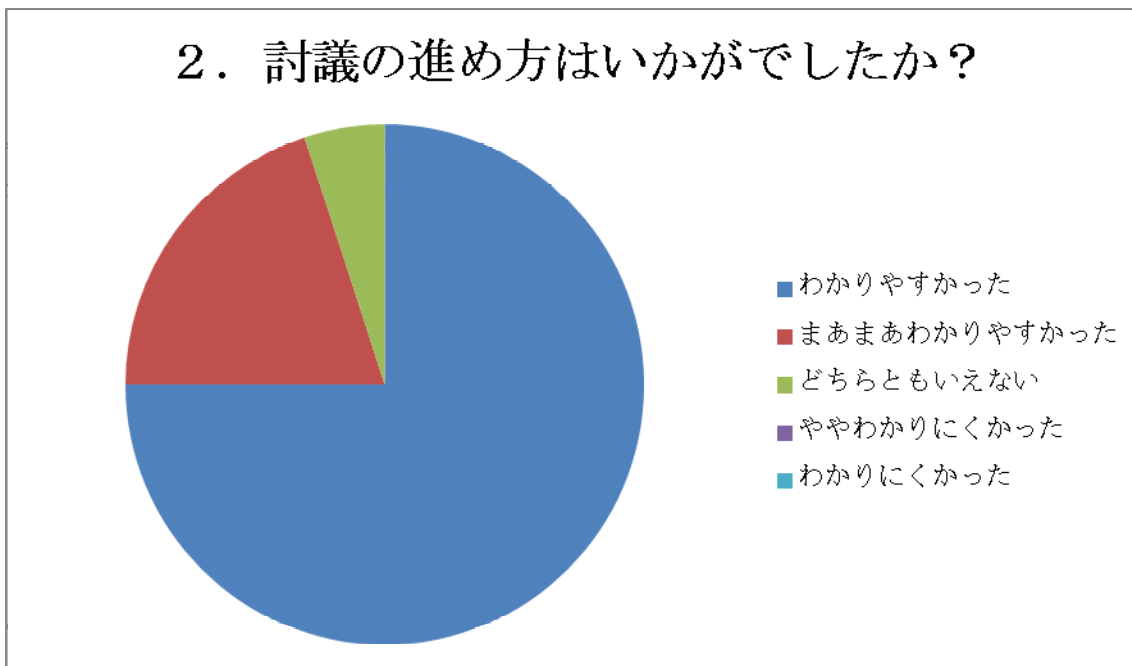
## 災害に強いまちづくりを目指して、伊奈町(行政)は

- 日頃から地域の連携のための工夫が必要です
- あらゆる災害に関する情報発信をより質の高いものにしていくことが必要です
- 災害発生時のための多様な訓練(教育)を充実させることが必要です
- FM放送による防災情報の発信などの設備の整備を充実させることが必要です

## 参加者アンケートの結果(回答数20)

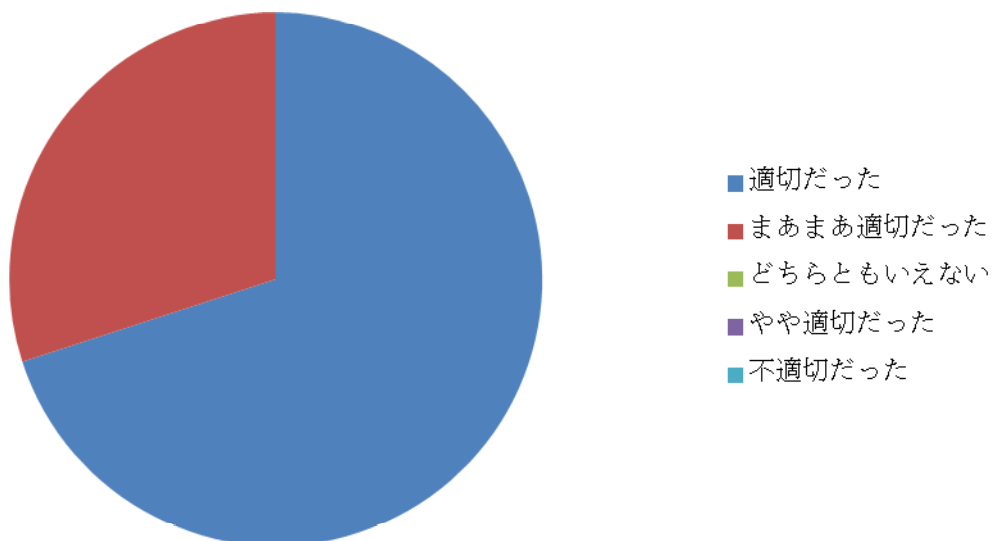


※参加者全ての方から「有意義だった」という回答をいただきました。



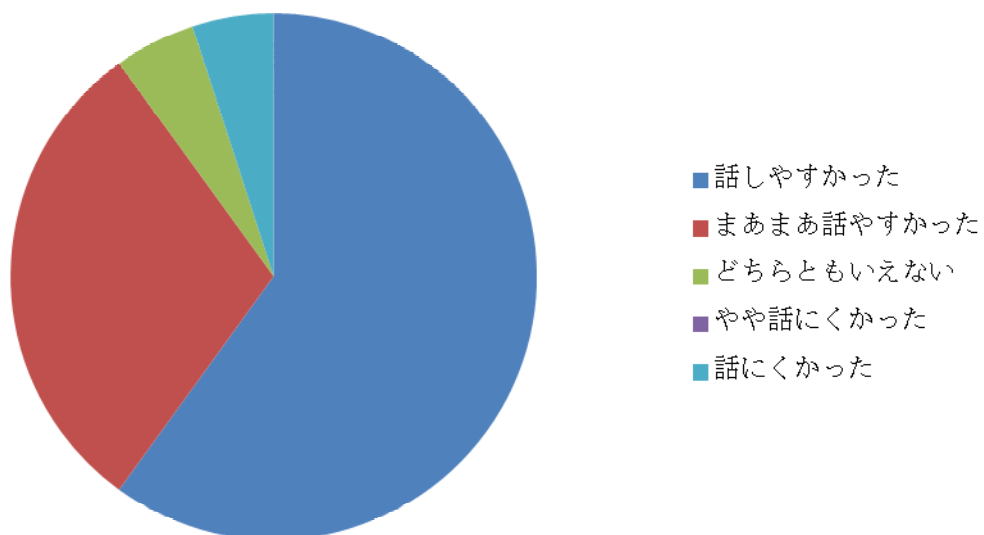
※ほぼ全員の方が「わかりやすかった」「まあまあわかりやすかった」という回答でした。

### 3. テーマに関する情報提供はいかがでしたか？



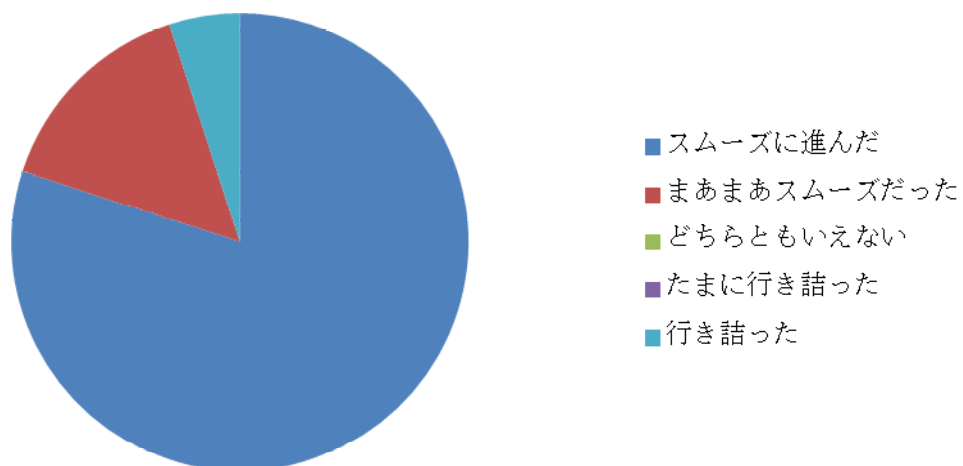
※ほぼ全員の方から「適切だった」「まあまあ適切だった」という回答をいただきました。

### 4. 討議テーマは話しやすかったですか？



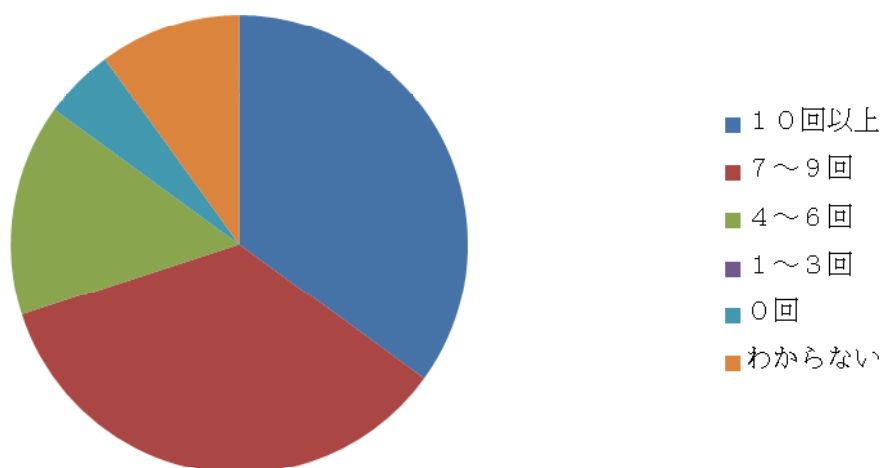
※全体的に概ね話やすかったようですが、「話にくかった」という意見もありました。

## 5. チームごとの話し合いはスムーズに進みましたか？



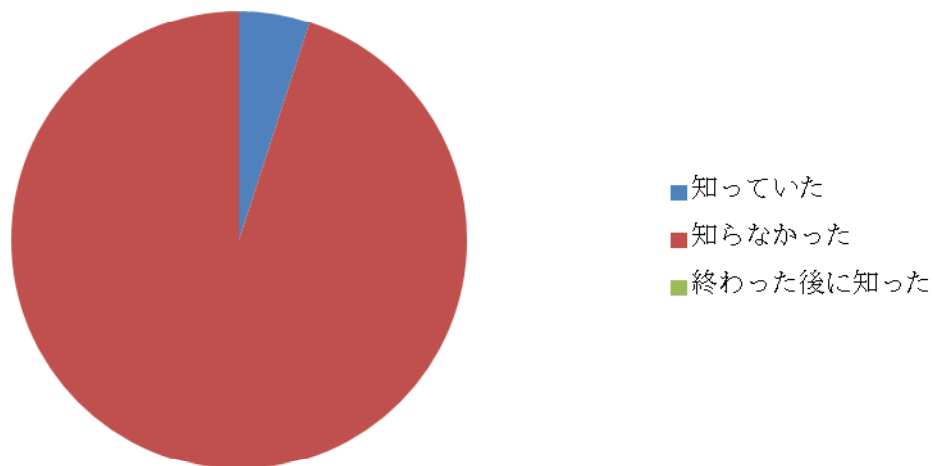
※ほぼ全員の方が「スムーズに進んだ」「まあまあスムーズだった」という回答でした。  
ただし、「行き詰った」という回答も1件だけがありました。

## 6. テーマを討議する際、だいたい平均して何回くらい発言されましたか？



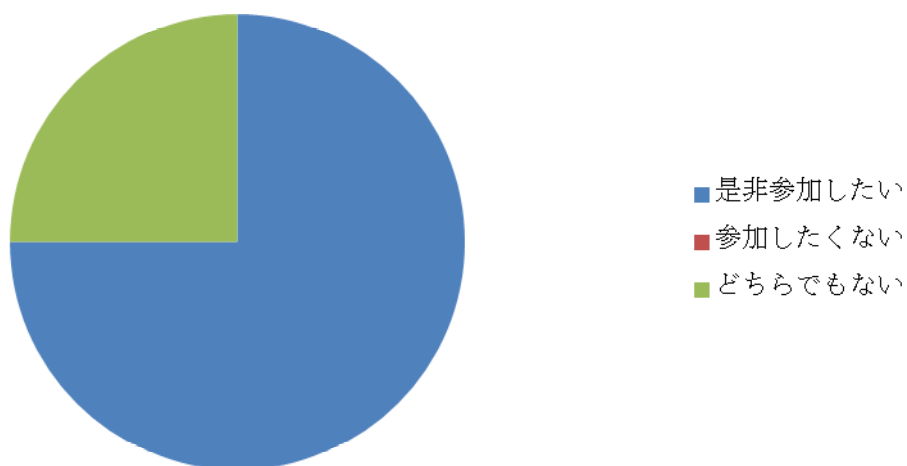
※全体的にはみなさんが多くの発言をしていただいたようですが、「0回」という回答があり、発言を促すテーブルサポーターの役割がとても重要になってきます。

## 7. 昨年も同じように町民討議会が開催されていましたが知っていましたか？



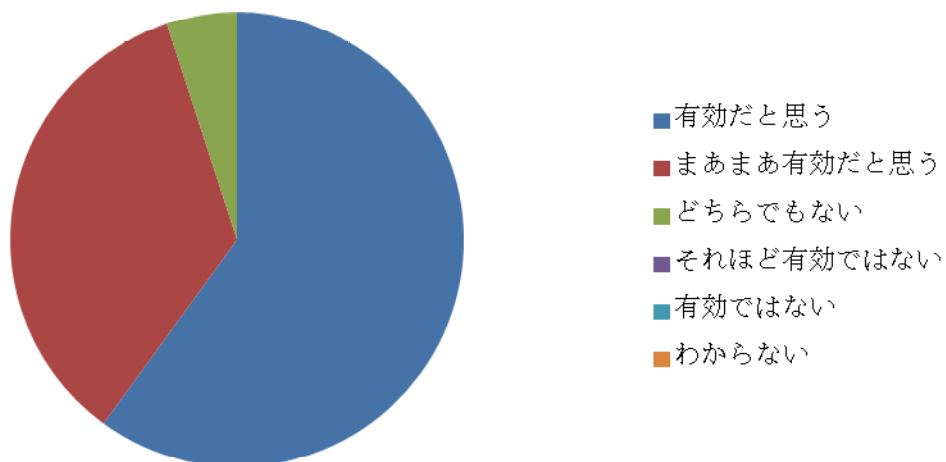
※1人以外は「知らなかった」と回答しており、広報の方法の検討も必要だと言えます。

## 8. 来年も開催されるとしたら参加したいと思いますか？



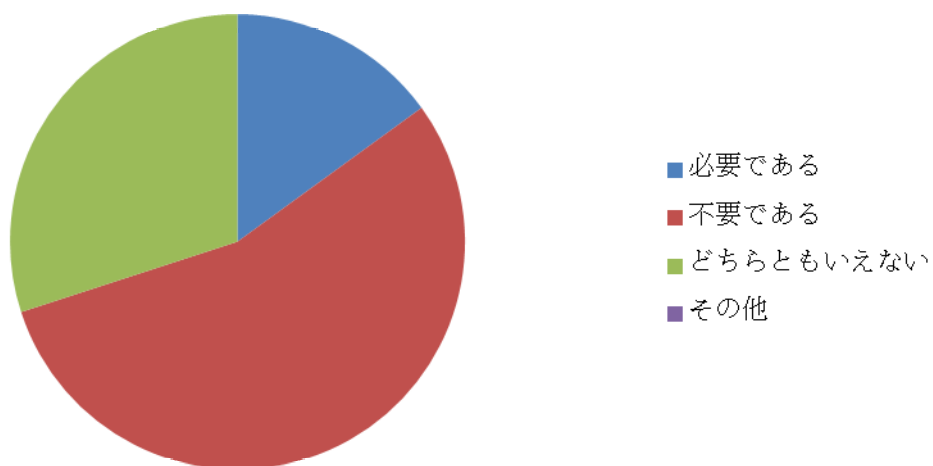
※20人中15人が「是非参加したい」という回答をいただきました。

9. 町民討議会は町民の声を町政に反映させるのに有効な方法であるとされておりますが、実際に参加してみてどう思われましたか？



※ほぼ全ての方が、「有効だと思う」「まあまあ有効だと思う」と回答されており、参加された方自身も有効な方法であると感じていただいたと言えます。

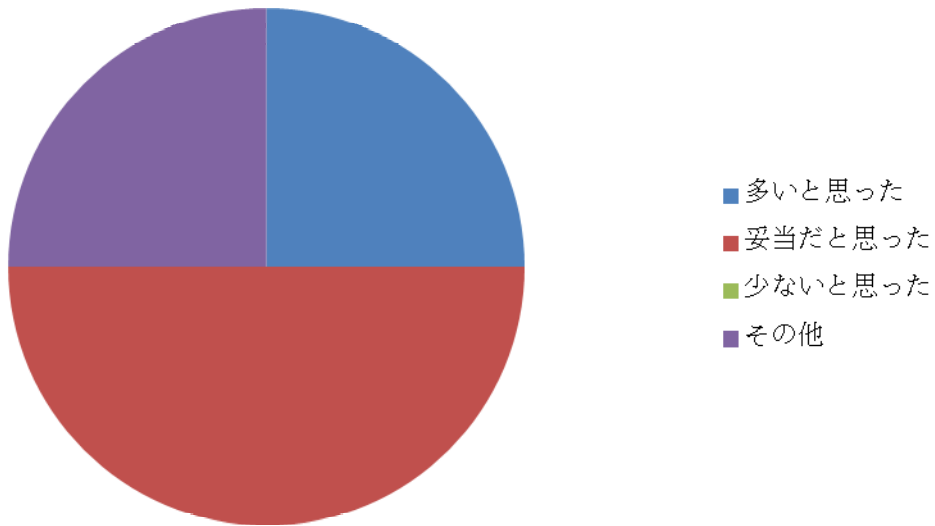
10. 謝礼の有無と参加決意の関係についてどのようにお考えですか？



※全体の半数以上の方が謝礼は「不要である」と回答しております。

その他の意見で「町内にお金が落ちるのは良いと思う」という意見がありました。

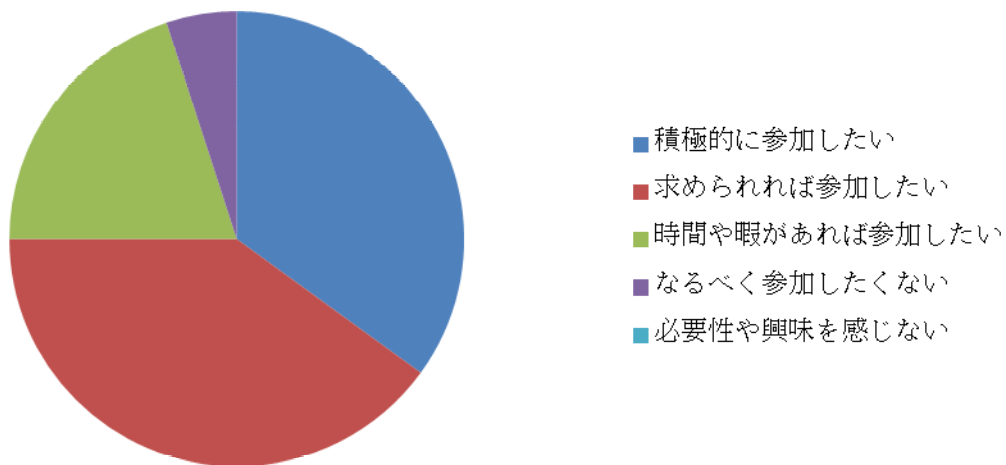
## 1 1. 謝礼の金額について



※謝礼については「妥当だと思った」という回答が半数となり「多いと思った」という回答もありました。

※その他と回答された方全員が謝礼は不要であると回答しています。

## 1 2. これからの地域活動への参加についてどのようにお考えですか？

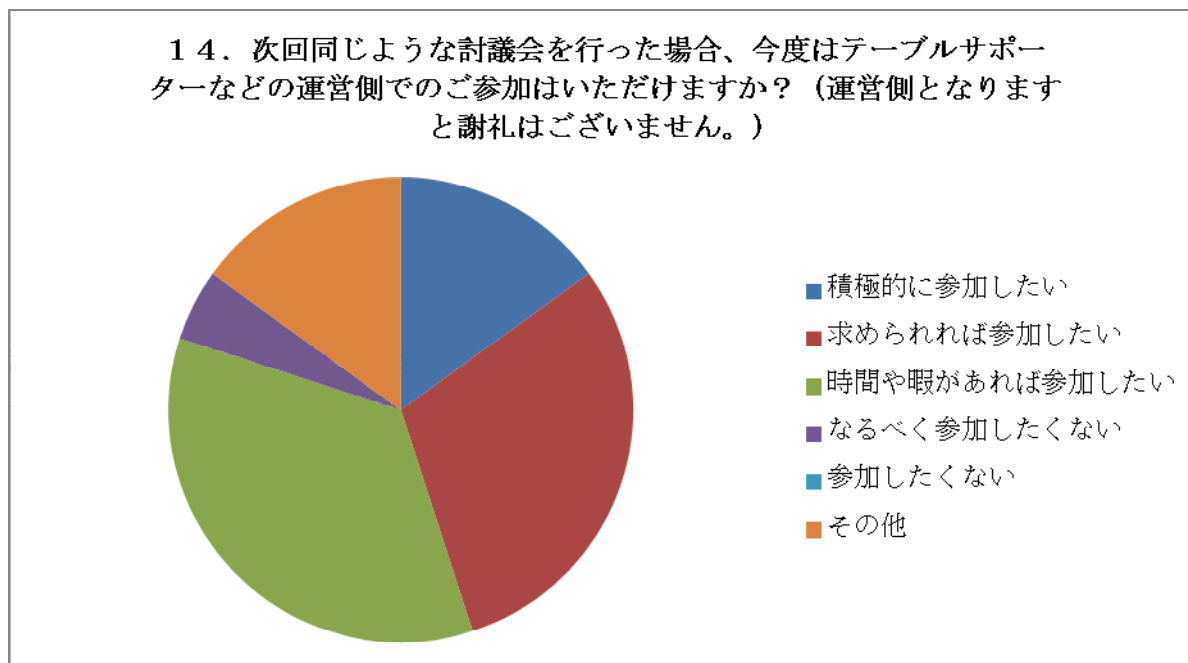


※ほぼ全員の方が参加をしたいという回答をしております。



13. 12. ④なるべく参加したくない、⑤必要性や興味を感じないと答えた方へ伺います。それはなぜですか？具体的なお答え下さい。

※回答なし



※参加をしたいと回答された方が非常に多くいらっしゃいました。

※その他の意見 ・準備だけならば大丈夫です

- ・出来ればもう1, 2回参加してからなら
- ・わかりません

## 15. 町民討議会について、ご意見・ご感想などをご記入下さい。

(内容は自由です。)※テーマ設定、運営、会場等について

### 【テーマなど】

- ・テーマが広くて難しかった
- ・テーマが抽象的だったが、うまくまとめることができた
- ・まちづくりをテーマにしてほしい
- ・地域の活性化
- ・自然環境の作り方
- ・とても適切なテーマでした

### 【開催時期・日時】

- ・暑い夏場の開催はさけてほしい

### 【参加者の募集等】

- ・幅広い年齢層の方を集めてほしい
- ・グループ内の年齢構成も考えてほしい
- ・多くの人に参加してほしい
- ・参加者がもう少し多いといいのでは
- ・若い人の参加が少ない
- ・学校や企業等との連携も必要なのではないか
- ・参加人数を増やす工夫を
- ・参加者の選定方法について改善する必要がある

### 【運営】

- ・今後も続けてほしい
- ・町政に反映させるべき意見が多くあった
- ・どんどん開催してほしい
- ・サポート体制が整っていた
- ・ゲーム形式で意見が出しやすかった

### 【個人の感想】

- ・勉強になりました
- ・自分のためになりました
- ・知らない人、初対面の人とも様々な話ができて、コミュニケーションが取れた

## 參考資料

## 「平成24年度 伊奈町民討議会」の実施に関する協定書

伊奈町（以下「町」という。）と公益社団法人埼玉中央青年会議所（以下「青年会議所」という。）は、普段声を発する機会の少ない町民が町制へ参加するきっかけをつくり、町民参加・町民協働によるまちづくりを推進するため、無作為抽出による町民がまちづくりの課題について討議する「平成24年度伊奈町民討議会」（以下「町民討議会」という。）を共催するものとし、その運営等に関し、次の通り協定を締結する。

### （目的）

第1条 この協定書は、町民討議会の開催に伴う個人情報の取扱い並びに町と青年会議所の役割分担及び経費の負担を明確にすることを目的とする。

### （共催に関する原則）

第2条 町と青年会議所は、お互いの立場を理解、尊重し、対等なパートナーとしての関係を保つように心がけるとともに、多様な町民の意見を集め、中立性、公平性及び公正性を担保しながら、町民討議会の開催に至る過程やその成果について町民に公開するものとする。

### （個人情報の保護）

第3条 青年会議所は、個人情報保護のため、別紙「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

### （役割分担と経費の負担）

第4条 町と青年会議所の役割と責務は次のとおりとする。

#### 1 青年会議所の役割と責務

- (1) 町民討議会を円滑に実施するための準備委員会（担当委員会）組織を設置し、その運営に当たるものとする。
- (2) 町民討議会の開催を広く町民に周知するため、広報活動に当たるものとする。
- (3) 町民討議会内容及びその手法等について報告書を作成し、町に提出するものとする。
- (4) 町民への参加依頼書の発送の準備、町民からの参加申込書の受付及び参加者の決定を行うものとする。
- (5) 町民討議会の開催場所を確保するものとする。
- (6) 開催に係る町職員の人件費、町民への参加依頼書の発送費用、町民の参加決定書の発送費用以外の全ての経費を負担する。

## 2 町の役割と責務

- (1) 開催に伴う打ち合わせに参画する。
- (2) 町民討議会の開催を広く町民に周知するため、町の広報誌やホームページ等を活用し、広報活動に努めるものとする。
- (3) 住民基本台帳から参加候補者の無作為抽出作業を行うほか、町民への参加依頼書の発送費用、町民への参加決定書の発送費用を負担するものとする。
- (4) 町民討議会の討議テーマ決定に当たっての協議及び関係する情報を提供するものとする。

### (有効期限)

第5条 この協定書は町と青年会議所との合意をもって発効し、本事業が終了した時点で失効するものとする。

### (協定の解除)

第6条 町、青年会議所の双方あるいは片方より協定締結後やむを得ない状況により、本事業の継続が困難あるいは不可能な状況となった場合には協議の上事業を中止あるいは延期することができ、本協定も解除できるものとする。

### (その他)

第7条 本協定に定めのない事項で、町民討議会を実施する上で必要と認められるものについては、町と青年会議所が協議の上決定するものとする。

この協定書の締結を証するため、本書2通を作成し、町及び青年会議所双方記名押印のうえ、各自1通を所持するものとする。

平成24年 7月 6日

北足立郡伊奈町大字小室9493

伊奈町

町長 野川 和好

さいたま市大宮区桜木町1丁目7番5号  
ソニックシティビルB1F

公益社団法人 埼玉中央青年会議所

理事長 積田 優

各位

2012年8月吉日

伊奈町長 野川 和好  
公益社団法人埼玉中央青年会議所  
第17代理事長 積田 優  
地域政策委員会 委員長 白川 裕司

## 伊奈町いきいきミーティング2012「町民討議会」

### 参加のお願い

拝啓 残暑の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、公益社団法人埼玉中央青年会議所と伊奈町では、「平成24年度伊奈町民討議会」の実施に関する協定書」の締結により、「伊奈町いきいきミーティング2012「町民討議会」」を下記の通り開催することとなりました。

この町民討議会への参加者として、伊奈町が住民基本台帳から16歳以上の伊奈町民男女計1,000人を無作為に選出させていただきました。

つきましては、別添「伊奈町いきいきミーティング開催趣旨」をご覧ください、町民討議会の趣旨を御理解の上、御参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

### 記

1. 日時 2012年9月1日(土) 13:30受付開始  
14:00~17:35
2. 場所 埼玉県県民活動総合センター 3階 301セミナー室  
住所:伊奈町内宿台6-26 会場電話:048-728-7111
3. テーマ 討議テーマ「災害に強いまちづくりを目指して」
4. 参加定員数 30人
5. 謝礼 伊奈町共通お買い物券3,000円分
6. 参加申し込み方法(アンケートの返信方法)

(1) 電話 (2) FAX (3) 郵送のいずれかの方法で、下記の申し込み先までお申し込みください。お申し込みの際には、必要事項(住所、氏名、性別、年齢、電話番号)をお知らせください。

**7. 申し込み締め切り** 8月17日(金) 厳守願います。

### **8. 参加者の決定について**

応募者が30人を超えた場合は、抽選により決定します。参加決定者にはすみやかに参加決定通知書を送付いたします。

### **9. 御参加いただける方**

この依頼書が宛てられたご本人のみとなります。(他の御家族の参加はできません)

### **10. 主催団体について**

本討議会は、公益社団法人埼玉中央青年会議所が主催し、共催は伊奈町、協力は伊奈町商工会青年部にさせていただいて運営いたします。

### **11. 個人情報の取り扱いについて**

参加申し込みの際にいただいた個人情報のうち、氏名、性別、年代、お住まいの地域については、申し込みを行った時点で、伊奈町個人情報保護条例に基づき、申込者本人の同意をいただいたものとし、町民討議会に関する事務の目的に限り使用いたします。

### **12. 記録について**

当日は討議会、報告書作成時に使用する会場内の写真撮影、ビデオ記録を行います。また、視察される方のためにサテライトルームを用意し傍聴が出来るようにする予定です。また、撮影された写真に関しては報告書内で使用させていただくこともございますのであらかじめご了承下さい。

### **13. 日程**

- ①町民討議会 : 2012年09月01日(土) 14:00~17:35  
埼玉県県民活動総合センター3階 301セミナー室
- ②報告書作成会 : 2012年09月22日(土) 14:00~15:45  
(討議会参加者のみ) 埼玉県県民活動総合センター2階 207セミナー室
- ③報告会 : 2012年10月28日(日) 15:00~17:00



**埼玉県県民活動総合センター3階 305セミナー室**

**※①の町民討論会にご参加できない方でも③の報告会には参加できます。**

**※①の町民討論会にご参加いただいた方のみ謝礼を差し上げます。**

**※交通費の支給はいたしません。会場の駐車場は最初の1時間は無料です。**

#### **14. 申し込み、お問い合わせ、アンケート返信先**

**公益社団法人埼玉中央青年会議所 地域政策委員会**

**〒330-8669**

**さいたま市大宮区桜木町1-7-5 ソニックシティビルB1**

**(私書箱66号)**

**電話：048-647-3315**

**FAX：048-647-3316**

平成24年8月吉日

様

伊奈町長 野川 和好  
公益社団法人埼玉中央青年会議所  
第17代理事長 積田 優  
地域政策委員会 委員長 白川 裕司

## 伊奈町いきいきミーティング2012「町民討議会」 参加決定通知書

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたびは『伊奈町いきいきミーティング2012「町民討議会」』にお申し込みいただき誠にありがとうございました。

つきましては首記の町民討議会へのご参加いただくことが決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

当日のご参加をお待ちしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

敬具

### 記

- 1. 日時** 平成24年9月1日（土） 13:30受付開始  
14:00開会 17:35閉会予定
- 2. 会場** 埼玉県県民活動総合センター 3階 301セミナー室  
住所：伊奈町内宿台6-26 会場電話：048-728-7111  
（※案内図は裏面をご参照ください。）
- 3. プログラム** 別添『伊奈町いきいきミーティング2012「町民討議会」参加討議者ガイドブック』の通り。  
※当日の討議を円滑に進めるため、必ず事前にお読みください。  
※当日もこの参加討議者ガイドブックをご持参ください。
- 4. 謝礼** 10月28日（日）の報告会の最後に報告書と一緒にお渡しいたします。  
受取確認のためご捺印いただきますので、当日は印鑑をお持ち下さい。（三文判で可）また報告会に参加できない方には後日郵送にてご送付させていただきます。送料は別途となります。謝礼の伊奈町共通お買い物券（3,000円分の購入費用は公益社団法人埼玉中央青年会議所が負担しております。）

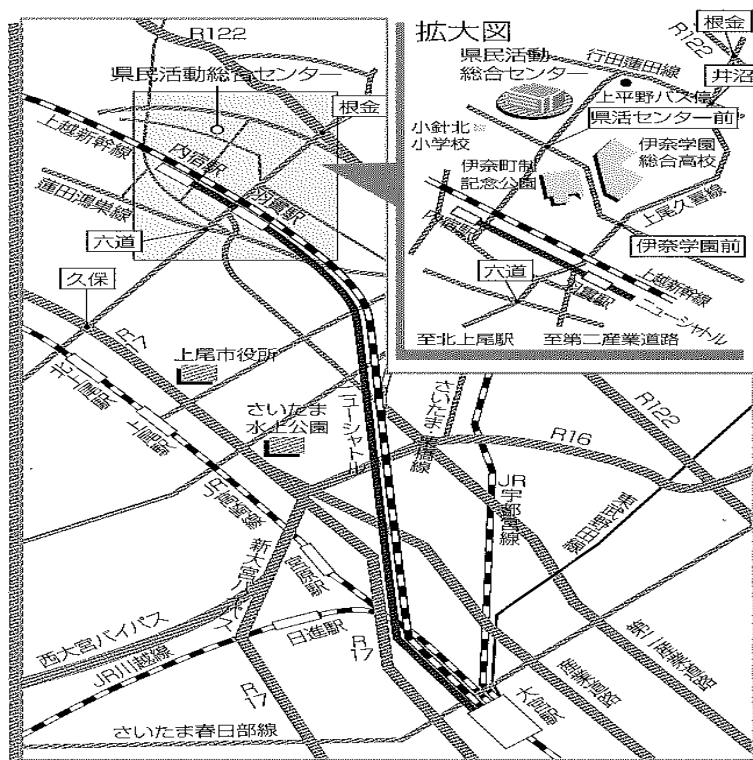
裏面につづく

5. お問い合わせ 公益社団法人埼玉中央青年会議所 地域政策委員会  
電話：048-647-3315 FAX：048-647-3316

6. 当日の緊急連絡先  
地域政策委員会 委員長 白川 裕司  
携帯電話：090-1465-7707

### 7. 会場案内

#### 埼玉県県民活動総合センター案内図



住所：埼玉県北足立郡伊奈町内宿台6-26

電話：048-728-7111

交通機関ご利用の場合（会場への交通費また駐車場費用は自己負担となります。）

- ・内宿駅から無料送迎バスで3分（内宿駅発 12:40、12:59、13:20）  
または内宿駅から徒歩約15分
- ・蓮田駅西口から朝日バス（丸谷行き、八幡神社行き、菖蒲車庫行き）で、約20分（蓮田駅西口発 12:23、12:52）。上平野バス停下車、バス停より徒歩約12分

駐車場のご案内

- ・駐車場は有料です（最初の1時間は無料、65歳以上の方には割引制度あり要運転免許証）。台数に限りがありますのでなるべく公共交通機関をご利用下さい。

以上

**伊奈町いきいきミーティング2012**  
**「伊奈町町民討議会」**  
**～災害に強いまちづくりを目指して～**

**参加者ガイドブック**

**※討議会当日必ずお持ち下さい**

**なまえ**

## Ⅰ 伊奈町民討議会2012の開催にあたって

市民討議会は、直接民主主義を実現するために1970年代以降ドイツで始まった、行政への市民参加の仕組みです。ここ数年日本でも、主に青年会議所が主体となって運営を始め、去年は全国90箇所以上で開催されるまでに至りました。

伊奈町においては初めての開催となりますが、町民がまちづくりに参加する新しい場として、また、町民の声の中でも特に最近重要視されている声なき声(サイレント マジョリティ)を行政へ届ける新しい手法として、今注目を集めています。

「伊奈町民討議会2012」は、昨年9月に「第1回伊奈町いきいきミーティング」として開催され、本年7月に伊奈町と公益社団法人埼玉中央青年会議所(以下、「JC」という。)がパートナーシップ協定を結び、第2回の開催に向けて準備を進めて参りました。これまで 数回の町とJCにて会議を行い、討議会で話し合っていたいただくテーマや、運営方法などについて議論を重ね、こうして町民の皆様をお迎えしての町民討議会開催となりました。

皆様を募集するにあたっては、伊奈町に住民登録のある16歳以上の方から、年齢構成比や男女比など、伊奈町の人口構成を基準に1,000人を無作為に選出させていただき、参加依頼書を発送しました。その結果、多くの方々から参加のお申込みをいただき、抽選の結果、30の方々にご参加いただくこととなりました。

「個」と「公」の協和が叫ばれる今だからこそ、行政に頼ってばかりのまちづくりではなく、町民各々が自覚と責任を持ってまちづくりに参加し、そして協働により、まちづくりを進めていくことは大変重要なことと考えます。その意味で、この「伊奈町民討議会2012」で皆様が意見を交わすことは、伊奈町に前向きな変化をもたらすこととなるでしょう。

討議会とは言っても、世間話のように和やかな雰囲気でお話いただければ結構です。

気負わず、当日を楽しむ気持ちでご参加ください。この「伊奈町民討議会2012」が、皆様にとってまちづくりに参加する大きな第一歩となることを、委員会一同心より祈念申し上げます。

## II 開催概要

1. テーマ ～災害に強いまちづくりを目指して～
2. 日時 平成24年09月01日(土)14時開会(受付開始13時30分)
3. 場所 埼玉県県民活動センター3階 301セミナー室
4. 持ち物
  - (1)参加決定のお知らせ(本人確認のため)
  - (2)ご印鑑(認印)(商品券受領のため)
  - (3)参加者ガイドブック
  - (4)事前アンケート(記入してお持ちください)  
※事前にFAXで送信していただいている方はけっこうです。
  - (5)筆記用具

### 5. 当日のタイムスケジュール 13時30分から受付開始

時間	内容
13:30	討議者受付
14:00	開会
14:01	主催者挨拶
14:06	伊奈町長挨拶
14:15	事業説明(趣旨・進め方など)
14:25	練習討議 情報提供 3分 (情報提供者:埼玉中央青年会議所)
14:28	練習討議 討議開始 10分
14:38	練習討議 討議終了・まとめ開始 10分
14:48	練習討議 発表・投票 17分
15:05	休憩 5分
15:10	本討議 情報提供[10分] 《情報提供者:伊奈町生活安全課様、埼玉中央青年会議所》
15:20	討議開始[50分]
16:10	討議終了・まとめ開始[30分]
16:40	発表・投票[40分]
17:20	アンケート記入・事務連絡
17:35	閉会

## 6. 謝礼

ご参加いただいた方へは謝礼として、伊奈町共通お買い物券3,000円分(費用は公益社団法人埼玉中央青年会議所が負担)をお渡しします。閉会式終了後、名札・アンケート提出と引き換えに、お渡しします。

## 7. 飲食について

皆様が気軽に話し合いができるよう、所定の場所に飲み物コーナーを設けます。ペットボトルと紙コップを用意しますので、ご自由にお飲みください。紙コップは原則1人1個をご使用願います。

## 8. 参加決定後のキャンセル等

諸事情により参加できなくなってしまった場合は、事前に連絡をお願いします。

なお、同居する20歳以上のご家族に限り、代理出席することが可能です。その場合も事前に連絡をお願いします。

## 9. 報告書作成会について

伊奈町民討議会2012で討議された内容については、報告書を伊奈町長へ提出する前に報告書作成会を開催し、皆様に討議結果をご報告させていただきます。

是非とも報告書作成会にご参加いただき、報告書についてご意見ををお願いします。

日時 平成24年09月22日(土) 14:00から

場所 埼玉県県民活動センター2階 207セミナー室

※ご案内は改めてお知らせします。

## 10. 報告書の提出について

市民討議会という新たな市民参加の手法、その有効性、及び討議された内容については、実行委員会において報告書を作成し、伊奈町長へ提出します。

報告書の完成、提出は、10月28日(日)を予定しており、ご参加いただいた皆様方へも郵送させていただきます。

## 11. 今後の連絡先

開催日当日以外の連絡はこちらへお願いします。

公益社団法人 埼玉中央青年会議所

伊奈町民討議会2012担当委員会(地域政策委員会)

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7番5号

TEL 048-647-3315 FAX 048-647-3316

## 12. 開催日当日の連絡先

当日諸事情により遅れる場合、または、急に参加できなくなってしまう場合など、開催日当日の連絡はこちらへお願いします。

伊奈町民討議会2012担当委員会

地域政策委員会 委員長 白川 裕司 携帯電話 090-1465-7707

副委員長 文 博信 携帯電話 080-6552-8325

## III 討議の進め方

### 1. グループ討議の流れ

討議は少人数のグループに別れて行います。グループ分けは準備委員会において予め決定し、皆様へは当日お伝えします。

グループ討議の流れは以下のとおりです。時間はおおむねの目安です。

討議にあたっての情報提供 [10分]

討議 [50分]

討議終了・まとめ [30分]

発表・投票 [40分]

### 2. 討議の手法について

グループ討議では、大きな作業用紙(模造紙)と付せんを使って、皆さんの意見を出し合い、話し合いを通してグループの意見をまとめていきます。グループ討議に入る前に全体説明がありますが、話し合いを進めながら分からない点は、各グループのテーブルサポーターに聞いてください。

#### 手順1《情報提供》

---

① 情報提供者からテーマについての情報提供を受けます。

#### 手順2《テーブルサポーターからの説明と係りの決定・自己紹介》

---

② テーブルサポーターから挨拶があり、テーマの内容や討議の進め方などを簡単に説明します。

③ 皆さんそれぞれ15秒程度で自己紹介をし、グループ内での係(役割)を決めます。係の決め方はじゃんけんです。

・進行係・・・話し合いの司会進行をする係

・まとめ係・・・付せんをグルーピングしてまとめる係

・書記係・・・グループ内でまとめた意見や残したい意見を記入する係

・タイムキーパー係・・・話し合いの大よその時間を管理する係



（「あと何分です」と残り時間を教えてあげてください）」

・発表係…グループを代表して皆さんへ発表する係（じゃんけんで勝った方1名）

### 手順3《付せんへの記入》

④ 係が決まったら、まず、各自でテーマについて思いつく意見やアイデアを付せんに書き出します。できるだけたくさん書きましょう。質より量です。






・アイデア1個につき1枚の付せんを使用します。

・要素が分かれるアイデアや意見は2枚以上の付せんを使ってください。

・単語やキーワードでもOKです。

・大きな字で書きましょう。

【 討議用紙の使用例 】

A グループ	(この欄は、グループ全員の名前を記入)	
討議テーマ		
a さんの意見 	b さんの意見 	
c さんの意見 	d さんの意見 	e さんの意見 
まとめ1	投票欄	
まとめ2	投票欄	
残したい意見		

《意見の記入について》

※ 1枚の付箋に1つの意見を記入してください。(何枚書いても結構です。)

※ 討議①では、シンボルとその活用法を1枚に記入してください。

※ 討議②では、ボランティア活性化のために必要な事項(活性化策)を記入してください。

《意見内容の説明について》

※ なぜこの意見としたか(理由)やその活用法・活性化策によりどうなるか(効果)なども含めて説明してください。

### 手順4《自由な意見交換》

⑤ ある程度、付せんの書き出しが終わったら、進行係の方を中心にテーマについて意見交換を行います。記入した付せんを作業用紙(模造紙)左側の「作業スペース」欄に貼り出しながら、意見交換を行います。作業用紙(模造紙)への貼り出しは、恥ずかしがらずに全て貼り出し、自分の考えをグループのメンバーに伝え、意見交換を行います。それぞれ係がありますが、皆さん積極的に意見を出し合ってください。

⑥ 自由な意見交換にはルールがあります。

・批判しない

良い意見が出にくくなるので、他人の意見の批判はやめましょう。

・質より量

必ず1人1つ以上の意見を出していただき、より多くのアイデアを収集しましょう。

・自由で柔軟な発想

こんなことを言ったら笑われるかもしれないと思ったアイデアが、実は良いアイデアだったいしますので、恥ずかしがらずにどんどん意見を出しましょう。

・他の人の意見に便乗

他の人の意見に自分のアイデアを加えて新たな発見にしたり、連想して意見を膨らませてみたいでしょう。

⑦ 自由な意見交換により、新たに思いついたアイデアを付せんに書き出します。書いた付せんは作業用紙(模造紙)に貼り出し、自分のアイデアを他の人に見せましょう。そのアイデアで、他の人が新たなアイデアを浮かべるかもしれません。

話し合いの中で新しく思いついたり、他の人の意見を聞きながら思いついたアイデアをどんどん付せんに書き、貼り出していきます。

手順5《付せんのグルーピング》

⑧ まとめ係を中心に、皆さんから出された付せんを同じような意見や種類に分ける「グルーピング」を行います。

・作業用紙(模造紙)の「作業スペース」欄に貼り出された付せんを同じ意見や似たような意見毎にまとめていきます。

・どの意見にも属さない意見は、無理にグループ分けせず、1つのグループとします。

⑨ いくつかのグループができれば、さらに大きなブロックにまとめてみます。こちらも無理にブロック分けをする必要はありません。

・関連性が分かるように線で結んだり、囲ったりしても良いでしょう。

・また主旨が分かるように、タイトルを付けてみるのも良いでしょう。

【 討議用紙の使用例 】

Aグループ	(この欄は、グループ全員の名前を記入)
討議テーマ	考えよう！三浦のシンボルとその活用法
まとめ1	投票欄
まとめ2	投票欄
残したい意見	

《追加意見について》

※ 話し合い中(分類中)に新たな意見が出た場合は、付箋に記入して追加してください。

《分類方法について》

※ 例示のように付箋を枠で囲んで分類する方法のほか、付箋に記入した意見から表を作成(大分類・中分類・小分類・意見〔討議①の場合はシンボルと活用法を分けることも可〕を転記)して分類する方法や、意見を整理して新たに箇条書きで記入する方法など、各グループでやりやすい方法で行ってください。

## 手順6《意見のまとめ・発表用紙に記入》

⑩ グループ分け、ブロック分けがある程度できたら、各テーブル3つの意見を考えます。グループ分けやブロック分けを見ながら、個別のアイデアにも戻り、どのアイデアが意見として良いかを話し合います。意見としてA案とB案を合わせた方が良いというものもあるかもしれません。素晴らしいと思うものを3つ「意見」として残し、作業用紙（模造紙）右側の「意見」の欄に記入します。

- ・まとめ方は、与えられたテーマ（質問）への答え（回答）として記入します。
- ・できるだけ、分かりやすいように工夫しましょう。
- ・3つできない場合は、1つや2つでもOKです。
- ・「意見」には入らないが、どうしても残したい意見は「残したい意見」欄に記入します。

【 討議用紙の使用例 】

A グループ	(この欄は、グループ全員の名前を記入)		
討議テーマ			
景観 自然 建物	食 水産物 農産物	○○ ○○	○○ ○○
まとめ1	・○○○○○○○○○○○○○○○○		投票欄
まとめ2	・△△△△△△△△△△△△△△		投票欄
残したい意見	・◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇      ・◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇		

## 手順7《発表》

- ⑪ 各グループの発表係が、順番に発表します。発表の時は、グループ全員で前に出ます。
- ・発表時間は、1グループ約3分です。
  - ・発表内容は、付せんに書かれた代表的な意見をいくつか挙げ、このようなまとめになったという形でOKです。もちろん起承転結で発表していただいてもOKです。
  - ・自分たちのグループの意見・まとめに自信を持って、発表は大きな声で行います。

## 手順8《投票》

- ⑫ 全グループの発表が終わったら、自分が良いなと思った「意見」に投票を行います。
- ・投票の対象は「意見」であり、「残したい意見」には投票しません。
  - ・投票シールは1人につき5枚です。1つずつ違うところに貼っても、1つのところに複数枚貼ってもOKです。

- ・自分のグループの意見でも、他のグループの意見でも投票できます。
- ・5枚のシールを全て貼らなくてもOKですが、皆さんが一生懸命に考えた意見ですので、全グループの内容に目を通し、5枚のシールを全て使うよう心がけましょう。

【 討議用紙の使用例 】

A グループ	(この欄は、グループ全員の名前を記入)
討議テーマ	考えよう！三浦のシンボルとその活用法
景観 自然 建物 食 水産物 農産物 ○○ ○○	投票欄 ●●●●●● 投票欄 ●●
まとめ1 ・○○○○○○○○○○○○○○	
まとめ2 ・△△△△△△△△△△△△△△	
残したい意見 ・◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇    ・◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇	

投票用シール

**それでは9月1日(土) (13:30受付開始)**

**埼玉県民活動総合センターにてお待ちしております。**

**公益社団法人 埼玉中央青年会議所 地域政策委員会メンバー一同**

# 情報提供用配布資料

## ○伊奈町の防災の取組み

- 1 東日本大震災への対応
  - 上越新幹線の緊急停車による帰宅困難者への対応
  - 被災地への物的・人的支援
  - 被災地からの避難民の受入れ
  
- 2 地域防災計画の見直し
  - 帰宅困難者対策
  - 災害時要援護者対策
  - 備蓄物資の充実と品目の見直し
  - 避難所設置、運営に関する修正
  - 放射能汚染対策の追加
  
- 3 平成24年度の町の取組み
  - 防災行政無線の増設、スピーカーの増設
  - 自主防災組織の充実
    - ・通信手段の確保
    - ・防災訓練、防災研修の実施
    - ・防災資機材、備蓄品の充実
  - 福祉避難所の確保
  - 緊急情報メールの配信
  - 各家庭における防災対策の呼びかけ

# 東日本大震災への町の対応について

町では、埼玉県町村会を通じ義援金として150万円を被災地へ送金しました。

☎ 生活安全課内2281



このたびの東日本大震災により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された皆様や関係者の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。

また町民の皆様には、義援金のご協力、ゆめくる一時避難者への支援、災害支援助物資の提供など、多くの皆様にご協力をいただきました。厚くお礼を申し上げます。

まだまだ余震も続いております。地震はいつ発生するかわかりません。町民の皆様には、それぞれのご家庭や地域で一層の防災の取り組みを進めていただきますようお願い申し上げます。

伊奈町長 野川 和好

3月11日(金)午後2時46分に発生した宮城県三陸沖を震源とする巨大地震は、国内観測史上最大の地震で、東北から関東地方にかけて大きな揺れと大津波を引き起こし、未曾有の大災害となりました。

町では、同日午後3時に町長を本部長とする「伊奈町災害対策本部」を設置し、地震による町内の被害状況の確認および被害家屋調査、道路等復旧作業等を行いました。

また、13日には東京電力の計画停電への対応、17日には埼玉県からの避難所確保の緊急要請に基づき「ゆめくる」を一時避難所に決定し、避難者を受け入れるとともに生活

支援・情報の提供等の対応を行ってきました。

## 1 町内の被害状況

屋根瓦の一部損壊 38軒  
※希望された方にブルーシートを配布しました。

ブロック塀等倒壊 6か所  
電線の切断 2か所  
停電 13軒

南小学校受水槽破損  
人的被害はなし

## 2 避難所の開設

地震発生直後、町内小・中学校およびふれあい活動センター(ゆめくる)の8か所に町の避難所を開設しました。避難所には15名の方が一時避

難されましたが、翌日の午前8時にはすべての方が自宅に戻られました。

## 3 上越新幹線運転停止による乗客の一時避難

(栄北高校)

上越新幹線が丸山駅付近で地震により緊急停止したため、乗客1,094人が栄北高校に一時避難しました。このため、町では次の支援を行いました。

毛布 1,200枚  
保存水 400本  
炊き出し  
(おにぎり1,400個)  
粉ミルク・紙おむつ等  
保健師等の職員の派遣

## 4 節電対策

3月13日午後8時ごろ、テレビ報道により計画停電が発表されたため、午後10時に町長および関係課長等による計画停電対策会議を開催し、各公共施設の業務対応などについて協議しました。決定した計画停電の内容を、防災行政無線やホームページなどにより周知したほか、3月15日・30日の2回、東京電力の情報を区長を通して全戸配布しました。

なお、今後の電力総量規制については、庁内に組織を立ち上げ対応する予定です。

## 5 募金箱の設置および義援金のお願い

3月14日から町内公共施設14か所に募金箱を設置するとともに、各区長を通じて町民の皆様には義援金の協力をお願いしました。

募金箱による義援金総額

**3,085,184円**

(5月16日現在)

各区ごとにお願している義援金は含まれておりません。後日、報告いたします。  
※義援金は、日本赤十字社に送金しております。

## JR東日本大宮支社長が表敬訪問

5月10日にJR東日本大宮支社長が町長を表敬訪問しました。

これは、東日本大震災で上越新幹線が緊急停止したため、乗客が栄北高校に一時避難した際、町から毛布やおにぎりの提供、保健師等の職員を派遣したことに対するお礼のために来庁したものです。



## 6 ふれあい活動センター (ゆめくる) 一時避難所

3月16日の埼玉県からの一時避難所確保の緊急要請に基づき、翌17日災害対策本部会議を開催。ふれあい活動センター(ゆめくる)を一時避難所とすることを決定し、受け入れ準備を行いました。

3月20日から、福島県の被災者7家族21名を受け入れ、生活支援と情報提供を行ってまいりましたが、被災地のライフラインの復旧、職場の再開な

## 7 被災地への物資支援

3月19日に埼玉県を通じて被災地への物資の提供を行いました。

保存水 2,000本  
毛布 1,000枚  
アルファ米 1,000食  
缶詰パン 1,000食  
サバイバルフーズ 900食

どによりすべての方が退所されたため、4月30日をもって一時避難所を閉鎖しました。この間、多くの町民の皆様からご支援、ご協力をいただきました。

## 避難所一覧

拠点避難所	対象行政区
南中学校	丸山 下郷
南小学校 栄北高等学校 ふれあい活動センター	栄南 栄中央 栄北 綾瀬東 綾瀬南 綾瀬北
小室小学校	志久 南本 北本
伊奈中学校	小貝戸 中央
国際学院高等学校 日本薬科大学	柴中荻 若櫻 大山
小針中学校	大針 細田山
小針小学校 小針北小学校 県立伊奈学園総合高等学校	羽貫 小針新宿 小針内宿 光ヶ丘

## 地震対策 していますか?



### ①地震に備えて

もしもの時に備えて、非常持出品の準備や避難先の確認など万全を期しておきたいものです。日ごろの心がけが、いざというとき大きな差となって現れます。

- 1 家具の転倒防止・落下防止、ガラスの飛散防止
- 2 飲料水、食料などの備蓄
- 3 非常持出品の準備
- 4 避難ルートの確認
- 5 家庭で防災について話し合う
- 6 日ごろから近所の住民とのコミュニケーションを図る
- 7 自主防災組織などへの積極的な参加
- 8 住宅の耐震化

### ②地震から身を守る心得

地震による被害を最小限にできるかどうかは、日ごろの備えとともにその瞬間にどれだけ適切な行動をとれるかにかかっています。

- 1 まず、身の安全を
- 2 火の始末
- 3 ドアや窓を開け出口を確保
- 4 火が出たら素早く消火を
- 5 あわてて外に飛び出さない

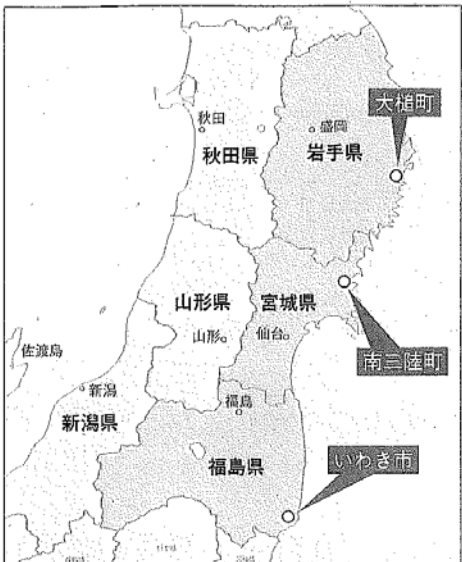


# 東日本大震災の被災地への支援について

生活安全課内 22281

**岩手県大槌町・宮城県南三陸町に支援物資を搬送、福島県いわき市に職員を派遣**

7月7日(休)に野川町長および町職員7名が岩手県大槌町に、また、7月12日(火)には今成副町長ほか町職員7名が宮城県南三陸町へそれぞれ支援物資を搬送しました。現地で不足している物資などを事前に確認したうえでお



届けし、両町のみなさんには大変喜んでいただきました。この支援は、埼玉県市町村長会議での提案に基づき、埼玉県内の市町村が分担して被災地の市町村と直接連絡を取り合い、支援をしていくものです。

また、埼玉県からの職員派遣依頼に基づき、福島県いわき市に7月19日から8月31日まで税の減免事務を行うため、職員延べ3名を派遣しています。

## 7月7日 岩手県大槌町



野川町長と中村町民課長

●岩手県大槌町  
面積 200・59 km<sup>2</sup>  
人口 15,239人  
(3月1日)

大槌町は3月11日の地震で災害対策本部参集の時に大津波に襲われ、町長以下課長級職員の多くが亡くなられました。8月28日には、町長・町議会議員選挙が行われます。

被害状況 (7月7日現在)  
死者 786人  
行方不明者 827人  
家屋倒壊 3,677棟

主な支援物資  
殺虫剤  
2サイクル用エンジンオイル  
ハエ取り紙  
自転車用鍵  
ポリ袋 など



## 7月12日 宮城県南三陸町



今成副町長と遠藤副町長 (右から2人め)

●宮城県南三陸町  
面積 163・74 km<sup>2</sup>  
人口 17,382人  
(3月1日)

南三陸町は3月11日の地震で震度6弱を記録し、大津波は町内3つの川を逆流し内陸深くまで大きな被害をもたらしました。町庁舎や消防署などほとんどの公共施設が全壊しました。

被害状況 (7月7日現在)  
死者 542人  
行方不明者 564人  
家屋倒壊 3,311棟

主な支援物資  
飲料水  
シャンプー・リンス  
食器用洗剤  
衣類用洗剤  
衣類用漂白剤 など



あとがき

昨年に引き続き、第2回の伊奈町民討議会の開催にあたり、我々青年会議所は伊奈町様と数多くの打合せをさせていただきながら、多くの伊奈町民の方々に参加をしていただきそして活発に発言していただくために準備をして参りました。昨年は子育てについて討議していただきましたが、今回は「災害に強いまちづくりを目指して」というテーマのもと、昨年3月11日に発生した東日本大震災後に全国各地で防災計画の見直しがされておりますが、行政からだけでなく、市民(町民)に側からも防災について考え、これから必ず起こるであろう災害においてどのように取り組んでいかなければいけないのかを話合っていました。

伊奈町にも町会、自治会などを中心にした多くの自主防災組織があります。しかし、実際にそのような活動に関わる地域住民は全体から見るとほんのひと握りです。市民(町民)が「防災」という観点から改めてまちの事について真剣に議論し、自らの役割も認識しながら行政と協働してまちづくりに取り組む事によって、一人ひとりが当事者としての意識を高く持ち、これから求められるまちづくりの方向性が構築されていくのではないのでしょうか。参加者アンケートの結果では今回参加していただいた町民の皆様はとても有意義だったという感想が多く、また参加したい、運営側としても参加してみたいと感じていただいております。このことからまだこの地域にはまちづくりに参加をしたいと考えている町民が多くいらっしゃるのではないかと考えられます。今後もこのような手法を用いた取り組みが引き続き行われることによりさらなる伊奈町の発展に繋がっていくことを心より祈念しております。

2012年10月

公益社団法人埼玉中央青年会議所  
2012年度 地域政策委員会  
委員長 白川 裕司

## 伊奈町いきいきミーティング2012 ～伊奈町民討議会～ 実施報告書

作成 : 公益社団法人埼玉中央青年会議所

作成日 : 2012年10月26日

提出日 : 2012年10月28日

公益社団法人埼玉中央青年会議所

2012年度 第17代理事長 積田 優

副理事長 厚川 弘毅

地域政策グループ 担当常任理事 駒井 洋平

地域政策委員会メンバー

委員長 白川 裕司

副委員長 伊藤 仕 文 博信

幹事 石丸 主憲 馬場 建吉 濱本 幸弘

委員 金子 善英 清水 信吾 鈴木 貴之 須永総一郎 高橋 賢司 結城 剛